

平成 30 年度

関東学生ホッケー連盟インカレ準備委員会 会議録

期日：2018 年 9 月 26 日（水）

時間：18 時 45 分～21 時 15 分

会場：品川区総合体育館

出席者：一川邦彦、河原茂光（以上副会長）、久我晃広（理事長）、萬納宏俊（副理事長）、宮澤哲郎（事務局）、関谷淳一（監事）、ジョン・シアン、成田健一、栗原崇、塩野谷住雄（以上常任理事）、竹内佑太（学連委員長）、矢作直也、樋脇彩夏（以上学連副委員長）、出口晴（競技委員長）、那須亮太（広報委員長）、祖山彩夏（財務委員長）、森川治門（審判委員長）、吉川菜緒（書記）、今村光成（学連委員）

古屋会長が欠席のため、一川副会長が代行して開会を宣言。

1. インカレ（平成 30 年度男子 67 回・女子 40 回全日本学生ホッケー選手権大会実施）の準備状況の確認

・樋脇表彰委員長より、開会式・監督主将会議運営案について説明があった。挨拶や選手宣誓の担当者、各種の旗の準備などは JHA の担当の方に確認する。表彰物の置き場は混雑を避けるため、レプリカ置き場と返還物置き場の机を分け、一人ずつ担当者を配置する方がよい。閉会式案についても詰めるよう指示があった。

・矢作学連副委員長より、コンプライアンスセミナー講師依頼料について説明があった。コンプライアンスセミナーに関する費用は、基本は日学連と折半で負担するので、詳細について日学連に予め連絡するよう指示があった。

・那須広報委員長より、広報委員会の準備状況について説明があった。チケット販売、（来客増に向けた）チラシ配布、協賛金の取り纏め状況、駒沢での放送対応、男女決勝 2 試合のハーフタイムイベントなどについて確認した。

・矢作学連副委員長より、平成 30 年度インカレ駒沢第一球技場運営についての説明があった。更衣室の運営などを確認。飲料販売は学連が担当するが、VIP 対応や補助記録・選評、ゲート更衣室、受付もぎりについては経験のある THA に協力を仰ぎ運営を行うことを確認した。

・その他、慶應日吉・早稲田東伏見両会場ともに競技役員の方々の部屋を確保すべく対応する。会場への交通手段については、基本的には電車移動をお願いしているが、バスでの来場が避けられない場合は、予め関東学連へ連絡が必要な旨を伝達することとした。

・動態表が未完成であり、ボールサーバーなども含めた要員数を確定させ、各大学に協力依頼を早急に行うことを確認した。

以上の協議を行ったが、すべての工程を確認する時間も足りず、改めて 10 月 17 日（水）にインカレ準備委員会を開催することとした。

本日の会議はインカレ準備委員会のため社会人役員および学生役員が参集したものであるが、学生より報告相談したい事項があるとのことで、以下について協議を行った。

1. 関東学生リーグ選手参加条件について

- ・竹内学連委員長より、留学生選手のリーグ戦参加について協議を行った。
- ・基本的には、ホッケー競技への参加が増えることについては前向きにとらえ、競技運営規則に則り「当該校に学籍を有すること（学籍証明書を確認する）」かつ「JHA に選手登録を行うこと（登録証を確認する）」の条件を満たせば、短期の留学生であってもリーグ戦参加を認めることとした。

2. 関東学生リーグ開催時における落雷等の事故発生への対応について

- ・リーグ戦中に落雷等が発生した際の中断中止の判断は、当該グラウンドに在席している社会人TD もしくは TO の判断に従うことを確認した。

3. 表彰委員会活動報告

- ・樋脇表彰委員長より、表彰委員会活動報告についての説明があった。女子1部の破損している2個の優勝カップは、新品製作ではなく修理を行う旨を確認した。

4. 平成29年度収支決算書の記載誤りについて

- ・萬納副理事長より、平成29年度収支決算書の記載誤りについての説明および報告があった。

以上

(押印略)

関東学生ホッケー連盟副会長

一川邦彦

関東学生ホッケー連盟理事長

久我晃広

関東学生ホッケー連盟学連委員長

竹内佑太